

子育て祖父「ソフリエ」、父「パパシエ」

北九州「男2代の講座」 これまで98人認定

男性に子育て講座を受けてもらい、おじいちゃんには「ソフリエ」、お父さんには「パパシエ」の資格を認定する「男2代の子育て講座」が23日、北九州市八幡西区黒崎3丁目の市立子どもの館であった。ソフリエ3人、パパシエ14人が新たに誕生した。

資格はNPO法人「エガリテ大手前」（東京都）が提唱。同法人のプログラムを受けた男性に与えられる。北九州市での講座は今回で8回目。おむつの替え方や沐浴（もくよく）のしかた、離乳食の作り方のほか、子どもの病気やトラブルとその応急処置などについて学んだ。自分の子どもや赤ちゃんの人形を相手に、マッサージやふれあい遊びもした。

ソフリエに認定された福岡市の井上真人さん(70)は2歳の孫娘がおり、今年夏にもう1人孫が生まれる予定という。「自分が若い頃は仕事ばかりで、親として娘に何もしてあげられなかった。孫の育児で娘の役に立ちたい」と話した。

パパシエになった北九州市八幡東区の

会社員都志見（つしみ）裕規さん(23)は、5カ月の長男蓮翔（れんと）ちゃんと参加。「抱っこの仕方、風呂の入れ方も自分のやり方と全然違った。勉強になった」。受講の様子を見守っていた妻千尋さん(24)に「仕事に行くより1日育児をする方が大変。これからもっと一緒がんばるね」と語りかけていた。

北九州の講座で誕生したソフリエ、パパシエはこれで計98人となる。全国では約550人が認定されている。（山根久美子）



赤ちゃんのマッサージを学ぶおじいちゃん、お父さんたち＝北九州市八幡西区黒崎3丁目の市立子どもの館

男2世代

育児学ぶ

八幡西区で講座

新米パパやおじいちゃんらに赤ちゃんの世話の仕方などを学んでもらう「男2代の子育て講座」が23日、八幡西区の市立子どもの館であった。約20人が参加し、おむつ交換や子どもの抱き方などを体験した。写真。

講座は、男性の育児参加を促そうと、小倉南区のNPO法人「子ども未来ネットワーク北九州」が年に2回開催している。助産師や料理教室講師などが、ミルクの飲ませ方や手軽に作れる離乳食のレシピなどを説明。参加者は、赤ちゃんの人形を使い、入浴の練習などに取り組んだ。

3月に第1子が生まれるという鞍手町の薬剤師、白神徹さん(31)は「受講して子育ての不安がかなり解消され、今は本当に楽しみ。妻積極的に育児に参加し、妻



「負担を減らしたい」と張り切っていた。